

法事・法要 勤修のための留意点 (ガイドライン)

- ◎ 「3つの密」(密閉・密集・密接)を避け、
- ◎ 基本的な感染対策を徹底し、
ともに仏さまのお話を聞かせていただきますよう

「つながりの中で生きている」ことに気づかされる尊い仏縁。
受け継がれてきたこのいのち
そして他の人のいのちを大切にするために、
法事・法要をおつとめするときは、
基本的な感染対策を十分に行いましょう。

感染予防の基本

◎ 体調管理

毎日、体温を計測
体調を整える

◎ 手洗い・消毒

丁寧な手洗い
共有物も消毒

◎ 飛沫防止

マスクを着用

◎ 席配置の工夫

できるだけ2m(最低
1m) 間隔を空ける

◎ こまめな換気

1時間に2回以上
空気を入れ換え

◎ 密接を避ける

会話のときは
正面に立たない

◎ 飲食(お斎・茶菓など)のときは感染リスクが高まるため、
特に注意しましょう

◎ 感染拡大地域への移動、感染拡大地域からの移動には、
十分注意しましょう

※本ガイドラインは、「新しい生活様式」の実践例として、法事・法要を勤めるにあたっての基本的な感染症対策を記載したもので、緊急事態宣言の発令や各都道府県における発令がある場合はこの限りではありません。その際には、お斎接待や集合しての法事・法要そのものについても、行政の指示に従ってご判断ください。

※新型コロナウイルス感染症対策に関する詳しい情報は、厚生労働省や日本赤十字社などのHPをご参照ください。

いま 私にできること
私のいのちを 大切にすること
他の人の いのちを 大切にすること

浄土真宗本願寺派(西本願寺)

僧侶のみなさまへ

門信徒のみなさまが、法事・法要を安心しておつとめできるよう、

**「3つの密」(密閉・密集・密接)を避け、
距離の確保、マスク着用、手洗い・消毒など、
基本的な感染対策を徹底します**

私たちにできること —お寺でおつとめするために—

◎堂内は

- ・複数の人が触れる手すり・椅子・ドア・テーブルなどを消毒します。
- ・できるだけ2m(最低1m)空けて席を配置し、十分換気します。
- ・消毒剤を入りに置きます。

◎読経中は

- ・マスクを着用します。
 - ・マスクをはずす場合は、十分な距離を確保します。
- ※出勤者が多いときは余間や外陣も活用し、十分な距離を確保します。

◎法話のときは

参拝者と対面になる場合は、特に注意して下さい。

- ・飛沫を防ぐ対策を徹底します。
- (例) 距離の確保
マスクの着用
フェイスガードの着用
飛沫防止板の設置
マイクの活用など

◎茶菓・お齋^{とき}のときは

- 飲食は感染リスクが高まります。大人数や長時間の飲食、マスク無しでの会話、大きな声での会話などは特に注意して下さい。
- ・茶菓は個別包装されたものを用意します。料理などは個別に配膳、または持ち帰りにします。
 - ・コップや食器等は共有せず、使い捨てにしたりします。

◎地域の感染症の流行状況を確認し、参拝者を把握(記録)します。

◎発熱などがある場合は、参拝をお断りすることも必要です。

◎僧侶や寺族自身の健康管理にも十分配慮して下さい。

工夫をこらし 安心できるお参りを



雪見障子をひっくり返し、ガラス板を上

(実践例)
法話台に
透明な衝立を設置



下部を固定し、布などで覆います

私たちにできること —門信徒宅でおつとめするために—

◎仏間では

- ・僧侶と門信徒の間隔をできるだけ2m（最低1m）空けて席を配置します。
- ・十分換気いただくよう促します。

◎読経中は

- ・マスクを着用します。
- ・門信徒の方にも、マスクを着用していただくよう促します。
- ・マスクをはずす場合は、十分な距離を確保します。

◎法話のときは

門信徒と対面になる場合は、
特に注意して下さい。

- ・距離の確保、マスクやフェイスガードの着用など、飛沫を防ぐ対策を徹底して行います。

- ◎門信徒宅に入る前には、携帯用消毒液などで十分に消毒します。
- ◎飲食(茶菓など)は感染リスクが高まるため、特に注意して下さい。
- ◎持病などによりマスクの着用が難しい方がいらっしゃることに留意して、感染対策を行って下さい。

※お参りから2週間以内に、僧侶または門信徒の新型コロナウイルス感染症発症が確認された場合は、保健所等の指示に従って対応してください。

※コロナ禍のなか、離れてお住いのご家族やご親戚が集まる法事の開催は難しい状況ですが、少しでもご法事のご縁にあっていただけるよう、インターネットなどを活用した法事をご検討ください。

念仏者として

～感染対策を徹底し、おみのりを伝える～

新型コロナウイルス感染拡大の原因は、人との接触であるとされます。感染拡大が続き、法事・法要をおつとめするにあたって不安が大きい今だからこそ、仏教の説く「つながり」の大切さに気づき、「生や死を超えていく道」があることを人々に伝えていかなければなりません。私たち僧侶一人ひとりが感染対策を徹底し、おみのりを伝えてまいりましょう。

いま 私にできること
私のいのちを大切にすること
他の人のいのちを大切にすること

浄土真宗本願寺派(西本願寺)